

交流事業:アーティスト・イン・レジデンス プログラム

AIR21:カナザワ・フリンジ2016

第3期公開イベントのお知らせ



2016年9月3日(土)~9月11日(日)

アートと関わる一週間!

金沢21世紀美術館を飛び出し、金沢の課題、人、場所に取り組む
アーティスト・イン・レジデンス・プログラム。

イベント名	AIR21:カナザワ・フリンジ2016
期間	2016年6月11日(土)~9月11日(日)
公開イベント	第1期:6月11日(土)~19日(日) / 第2期:7月23日(土)~31日(日) / 第3期:9月3日(土)~11日(日)
会場	金沢21世紀美術館 シアター21ほか金沢市街
料金	無料
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]、NPO法人金沢アートグミ、山田企画、Kapó、Suisei-Art
お問合せ	金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811
公式 WEB	http://air21kanazawafringe.com

取材申込み/問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:川守(広報室) 事業担当:黒田(交流課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



概要

AIR21: カナザワ・フリンジは、金沢21世紀美術館を飛び出し、アートな視点で金沢の課題、人、場所に取り組むアーティスト・イン・レジデンス(滞在制作)プログラムです。2015年に「Museum x KNZ Fringe～街と、人と、出会う」として実施し、2016年に「AIR21: カナザワ・フリンジ」と改名。

本年は6月から9月にかけて、5人のディレクターが国内外より招へいするアーティストやクリエイターとともに7つのリサーチプロジェクトを実施します。そこで得られた収穫をもとに、2017年に新作の滞在制作を実施するプログラムへと繋げていきます。

*「フリンジ」は周縁を意味します。ここでは国内外から招へいするアーティストが、街や人の多様なフリンジと出会い、共に新作を創作する活動を表します。街・人との出会い(meeting)→視点や価値観の再提起(proposal)→創作活動の実行(action)→アーティスト・街・人の緩やかな変化(change)といった創造的な循環スパイラルを積み重ね、金沢が創作活動の拠点(hub)となることを長期的な目標にします。

「AIR21:カナザワ・フリンジ」の指標

- ① アーティストが金沢で新作を滞在制作する。
- ② 新作は何らかの「社会的な気づき(social awareness)」や「社会との関わり(social involvement)」を喚起する内容を含む。
- ③ 作品の形態やメディアは問わないが、パフォーマンスの要素があり、観客や参加者がクリエイションの過程や本番で能動的に関わる要素があること。
- ④ 会場は街中のあらゆる場所。
- ⑤ 新作は良いクオリティ作品であること。

ディレクター / スタッフ

ディレクター：
 黒田裕子(金沢21世紀美術館)
 上田陽子(金沢アートグミ)
 山田洋平(山田企画)
 齋藤雅宏(Kapo)
 中森あかね(Suisei-Art)
 ドキュメンテーション: オノマトペ

第3期公開イベント

現在、アーティスト・イン・レジデンスは国内外で活発に実施されていますが各々の成り立ちや手法は千差万別、地域の個性が顕著に現れます。翻れば、アーティストと表現活動、地域や社会とどのように関わるのかを見極めることが不可欠となり、工夫次第では無限の可能性を秘めています。「AIR21:カナザワ・フリンジ」ではアーティストとディレクターがともにプログラムを企画立案するリサーチ期間を経て実施できるように2年をサイクルとしました。9月3日から11日まで開催する第3期公開イベントを本リサーチ年のひと区切りと位置づけ、ここから2017年度実践のスタートとします。(黒田裕子 / 金沢21世紀美術館)

考える

アーティスト・イン・レジデンス

2

レクチャー「ソーシャリー・エンゲイジド・アート： 金沢におけるアーティスト・イン・レジデンスの可能性」

講師: 工藤安代(NPO法人アート&ソサイエティ研究センター 代表理事)
 ディレクター: 齋藤雅宏(Kapo)

[日時] 2016年9月3日(土) 14:00~15:30

[会場] 金沢21世紀美術館 松涛庵(お茶室)

[対象] どなたでも [料金] 無料(予約不要)

アートと社会のつながりを研究している工藤安代氏が、地域社会をより良く変えるためのアートについて、国内の事例を紹介しながら解説。参加者のみなさんとの対話を通して、地域社会におけるアーティスト・イン・レジデンスの可能性を探る機会とします。

<ディレクターコメント>

アーティストが地域に滞在して制作やリサーチなどに取り組むAIRプログラムが、金沢の地域社会をよりよくするための触媒となる可能性について考えます。第2期に行なったレクチャーにおいて、アート&ソサイエティ研究センターの秋葉氏がお話して下さった海外のソーシャリー・エンゲイジド・アート(SEA)の事例から、金沢の地域社会におけるAIRとSEAの実践を考える際には、「アート」の定義や「社会」の範囲とあり方、「コミュニティ」の力を考えることが大切だと感じました。また、わたしたちの「アート」「社会」「コミュニティ」は、わたしたち自身が積極的につくることができる事だと感じました。第3期は、金沢の文化や街の課題について、アートが関わる事を考える機会にいたします。

工藤 安代 | Yasuyo Kudo | NPO法人アート&ソサイエティ研究センター 代表理事 |

東京生まれ。多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業。南カリフォルニア大学芸術建築科パブリックアート研究科修士修了。埼玉大学大学院文化科学研究科博士後期課程修了。パブリックアートコンサルタントとして、多数の公共・民間アート・プロジェクトに携わる。2003年に社会に関わるアート活動に興味をもつ知人らと共に任意団体「アート&ソサイエティ」を設立。著作に『パブリックアート政策』など。環境芸術学会理事を務め、2015年学会賞を受賞。日本女子大学、実践女子大学非常勤講師。

話す

地域社会とアート:ワールドカフェ開催!

ディレクター: 山田洋平(山田企画)

[日時] 2016年9月3日(土) 16:00~17:30

[会場] 金沢21世紀美術館 松涛庵(お茶室)

[対象] どなたでも

[料金] 無料(予約不要)



3

金沢在住アーティストを中心に、人々がカフェスタイルの場所の中でオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『ワールドカフェ』を開催します。ジャンルを超えたアーティスト同士や観客となる人達の交流は、地域社会に新しい風を吹かすかもしれません。

<ワールドカフェとは>

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づき提唱された話し合いの手法です。

- ・本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行います。
- ・自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる場の一体感を味わえます。
- ・メンバーの組み合わせを変えながら、4~5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られます。

(WORLD-CAFE.NETより抜粋)

<ディレクターコメント>

アートの世界における異業種交流会です。山田企画では金沢在住アーティストにインタビューをしてきました。その中でアートといっても形態は様々であり、業種が違えばお互いの交流はほぼないという事がわかりました。金沢が創作活動の拠点(Hub)として、アートによって独自性や革新性を備えた都市として成長していくためには、地元アーティストの活発な交流と、それによって生まれる新たな創作活動の形態が必要といえます。それは観客にとっても多くの形態のアートを鑑賞する機会が増える事になり、金沢の豊かな精神性を育むきっかけとなるかもしれません。

踊る

路上にて・Sokerissa! On the street in Kanazawa

アーティスト: 新人Hソケリッサ!

ディレクター: 中森あかね(Suisei-Art)

[日時] 2016年9月5日(月)~9月10日(土)

[会場] 近江町いちば館広場 / 金沢21世紀美術館シアター21

金沢表参道 / ダイニングバー不二 / ほか

[対象] どなたでも

[料金] 無料(予約不要)



Photo: 青木カオリ

4

ダンサー・アオキ裕キ、横内真人、小磯松美、路上生活者、元路上生活者で構成されたパフォーマンスグループ「新人Hソケリッサ!」。舞台、廃墟ビル、そしてブラジル・リオで。この夏、大都市ではない金沢で、通りがかった人たちとの関わりはいかに可能なのか。路上からはじまる初めての本当の出会い。

<ディレクターコメント>

アオキ裕キ率いる、パフォーマンスグループ「新人Hソケリッサ!」はホームレスと元ホームレスで構成されています。路上での生活の歴史を持った身体、その身体から湧き上がる力なき力、声なき声、極限の「ありのまま」を見せつけられたとき、私達の中でどんな感情が起こるのでしょうか。路上でのパフォーマンスは金沢の人々の反応も見ながら進められて行きます。またミュージシャンとのセッション、ダンサー・アオキ裕キのダンスワークショップを通して、最小限の媒体としての肉体表現とその精神について知りたいと思います。そして今こそ私達は自らの歴史を堂々と体の上にさらけ出し、彼らとともに裸足で路上に立ちましょう。日常の「体裁」や「偽善」「嘘」や「欺瞞」はその時もはや消え失せてしまうでしょう。「新人Hソケリッサ!」現代のシャーマンたちが地響きを立ててやってくる。金沢での初めての本当の出会いを求めて。

路上パフォーマンス

[日時・会場] 9月5日(月) 13:00~15:00の間随時 金沢駅東もてなしドーム地下広場(予定)
9月7日(水) 10:00~11:00 近江町いちば館広場(予定) / 13:00~15:00 金沢表参道など(予定)

新人Hソケリッサ!の金沢お披露目路上パフォーマンス。
※場所や時間は決まり次第、公式サイトで発表します。

ライブ

[日時] 9月6日(火) 18:30~20:00
[会場] 金沢21世紀美術館シアター21 [料金] 投げ銭 [予約] 不要
新人Hソケリッサ!、寺尾紗穂(歌とピアノ)、石川征樹(ギター)一夜限りのハートフルなライブ。寺尾紗穂さんとの出会いについてのトークもあります。

トークセッション

[日時] 9月8日(木) 19:00~21:00
[会場] ダイニングバー不二(金沢市材木町29-13)
[料金] 1ドリンクオーダー制 [定員] 限定20人(先着順)
[予約] akane@susei-art.com 中森まで、人数、お名前、連絡先をご明記ください。
新人Hソケリッサ!を囲む金沢在住アーティストやダンスパフォーマー達との熱いトーク。

ダンスワークショップ

[日時] 9月10日(土) 13:30~15:00
[会場] 金沢21世紀美術館シアター21
[料金] 無料 [対象] 小学生以上(経験不問) [定員] 30名(先着順)
[予約] akane@susei-art.com 中森まで、人数、お名前、連絡先をご明記ください。
アオキ裕キによる身体の歴史を知るワークショップ。動きやすい服装で、お気軽にご参加ください。

新人Hソケリッサ!

演出を行うダンサー・振付家アオキ裕キが「生きることに日々向き合う身体」を求め、路上生活経験を持つ参加者を集めた活動。2005年よりビッグイシュー基金の協力のもとメンバーを募り、第一回公演「新人Hソケリッサ!」を2007年に行う。十和田市現代美術館、大野一雄フェスティバルに出演。慶応大学など学生へ向けての講演、寿町の幼稚園などにおいて子供たちへ向けたパフォーマンスまで多様な活動を行う。2015年にシンガー寺尾紗穂さんとコラボレーション。クラウドファンディングで集まった寄付により日本全国13カ所でのツアーが実現。身体の記憶を生かした動きから見える景色。路上生活経験の身体による芸術活動の展開は、社会性を含んだ幅広い可能性を持ち大きく注目されている。

食べる

KANAZAWA妄想レストラン TEI-EN

シェフ：稲田俊輔

ディレクター：上田陽子(金沢アートグミ)

協力：四井雄大 / 住人の振る舞い

[日時] 2016年9月9日(金)、9月10日(土)

“とあるニューヨーカーが金沢の食文化に感銘を受け、謎の東洋人陶芸家と組み、愛ある誤解のままレストラン「TEI-EN」をオープンさせる”という設定の下、6月～9月にかけて行ったリサーチが反映された新しい金沢料理を提案します。

<ディレクターコメント>

金沢の「食」というと、皆さん何を思い浮かべるでしょうか？

新鮮なお刺身、寿司、治部煮、かぶら寿司、和菓子、おでん、金沢カレー…

感じ方は人それぞれだと思いますが、金沢出身である私は、金沢の郷土料理は個性的な品が少なく、均整の取れたものが多いと思っています。“郷土料理”なので形式化されて当然、それはそれで勿論素晴らしいのですが、おめかししたものが多くアピールされすぎていないか。もっと面白い特徴はないのか。という気持ちからスタートした企画です。

今回お招きするシェフ、稲田俊輔さんは飲食店のメニュー・業態開発を行うとともに、その頭脳と舌でもって独自の食文化論を展開しています。刺身や寿司、和菓子、金沢カレーが得意でないという彼は、一体金沢の食文化のどこに反応し、どのようなメニューに展開されるのか？妄想レストラン「TEI-EN」を通じて、これまでにはない、金沢の食文化の新たな側面が見つけれられるでしょう。

TEI-EN オープニングパーティー

[日時] 9月9日(金) 18:30～20:00

[会場] shirasagi / 白鷺美術(柿木畠4-16)

[料金] 2500円+1ドリンク [定員] 30名 [予約] 不要

[受付開始] 8月5日 ※先着順、定員に達し次第受付終了

[予約] 金沢アートグミ TEL 076-225-7780 又はinfo@artgummi.comまで

妄想レストランの妄想オープニングパーティー！シェフ稲田俊輔氏がこれまでに無かった発想で考案したTEI-ENのメニューを立食スタイルでしっかり食べていただきます。TEI-ENのために四井雄大が新たに制作した器でお召し上がりください。

シェフトーク試食付き

[日時] 9月10日(土) 15:30～16:30

[会場] 金沢21世紀美術館シアター21

[料金] 無料(予約不要)※試食は無くなり次第終了

稲田俊輔氏が金沢食文化分析とメニュー考案秘話を公開します。

稲田俊輔

京大大学経済学部卒業後、食品メーカー勤務を経て料理の道へ。フレンチ、和食、エスニックと幅広い飲食店の業態開発やレシピ開発を手がけている。現在、食文化論に関する初の著書を執筆中。



5

知る・考える

金沢のアーティスト・イン・レジデンス

[日時] 2016年9月11日(日)

(1部)13:30~14:30 (2部)15:00~18:00

[会場] 金沢21世紀美術館 シアター21

[対象] どなたでも

[料金] 無料(予約不要)



加賀国金沢之絵図

6

〈1部〉基調プレゼンテーション:ソウルのケーススタディ

[スピーカー] ジサン・パク(プロデューサーグループ・DOT/ 韓国)

ソウルを拠点に活動するインディペンデント・プロデューサーのジサン・パクさんに、街中で制作、上演された実験的なパフォーマンス作品や国際共同制作についてお話を伺います。2013年に光州(韓国)、金沢、高知で共同制作した『ONE DAY, MAYBE~いつか、きっと』についても言及します。

ジサン・パク | Jisun Park | プロデューサーグループ・DOT/ 韓国 |

ソウルを拠点に国際的に活躍しているクリエイティブ・プロデューサー。2000年以降、チュンチョン国際マイムフェスティバル、ソウルパフォーミングアーツフェスティバルなどでプログラミング及びゼネラルマネージャーを務める。2005年にはAsiaNowを共同設立し、韓国を代表する現代演劇グループの海外展開や国際共同制作を担う。2009年より在籍したKAMS(韓国アーツマネジメントサービス)の国際開発部門ではPAMS(ソウルパフォーミングアーツマーケット)にて韓国の演劇、ダンス、音楽の国際マーケットへの展開を実施。2014年に仲間とともにプロデューサーグループ・DOTを設立し、アーティストと共に創造的な道筋を開拓していくことを目標としている。

〈2部〉トークセッション:カナザワのAIR

金沢在住キュレーターやアートディレクターなどと共に、金沢で過去に実施されたAIRについて振り返る事、あるいは現在行われているAIRを知ることで今後の「カナザワのAIR」の課題や意義を探ります。

※スピーカーは決まり次第公式サイトなどで発表します。

広報用画像

画像1~6を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、下記へお申し込みください。

金沢 21 世紀美術館 広報担当/川守(広報室)

〒920-8509 金沢市広坂 1-2-1

TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

<http://www.kanazawa21.jp>E-mail: press@kanazawa21.jp

<使用条件>

※トリミングをご遠慮ください。画像が切れたりキャプション等の文字がかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVDなどをお送りください。

以上、ご理解とご協力を頂けますようお願い申し上げます